



年 組 名前

道新でワークシート

シャクシャイン 慰霊のリレー

没後350年で9月

新ひだか町に昨年9月、新設されたシャクシャイン像



シャクシャインロードの経路



長万部ー新ひだか松前藩と戦った経路
徒歩と船逆たどり240キロ

【長万部】渡島管内長万部町は、アイヌ民族の英雄シャクシャインが350年前に松前藩と戦った経路をたどる「慰霊のリレー」を9月に行う。主戦場となった同町から、日高管内新ひだか町までの太平洋岸240キロを「シャクシャインロード」と命名。行程で通る13市町の参加者が、アイヌ文様刺しゅうが入った巨大パッチワークをたすき代わりに、徒歩と船でつなぐ計画だ。(古田佳之)

シャクシャインは1669年、松前藩による不平等交易で困窮したアイヌ民族約2千人を率い、新ひだか町から向かった長万部町で同藩と戦い、その後同年に殺害された。

長万部町は2016年、戦いのあった場所に、犠牲

シャクシャインの戦い、松前藩の圧政に対するアイヌ民族の一斉蜂起。長万部町の国縫(くぬい)川を挟み、同藩と対峙(たい

者を悼む古戦場跡碑を建立。没後350年にちなみ、新ひだか町までを逆ルートでたどるリレーを企画したところ、同町の大野克之町長が快諾した。計画では、アイヌコタン(集落)があった地域を含む13市町ごとに参加者を募

じしたが、鉄砲隊に阻まれ、多くの犠牲者が出た。シャクシャインはその後、同藩との和睦の酒席で謀殺され、戦いは終結した。

は終結した。

集。9月上旬に古戦場跡碑を出発し、新ひだか町で同23日に行われるアイヌ民族文化祭でのゴールを目指す。各区分では太平洋岸の道路や砂浜を歩くが、長万部町静狩と胆振管内豊浦町の間は史実を踏まえ、船をチャーターして渡る。

巨大パッチワーク作りは、アイヌ文化復興拠点民族共生象徴空間(ウポポイ)が20年4月に開設される胆振管内白老町で取り組まれている。一般から広く公募して縫い合わせ、リレーを通じて「多文化共生」を訴える。参加する小中学生を対象に、シャクシャインの戦いと地域との関わりを学ぶ歴史講演も行う計画だ。

リレーは北海道アイヌ協会との共催。長万部町は今後、関係自治体に協力を呼び掛ける。木幡正志町長は「戦禍の歴史を風化させず、平和と共生の願いを共有する機会にしたい」と話している。

2019年3月22日(金) 朝刊社会28面

- ①1669年におきた、シャクシャインの戦いとはどのような戦いだったか答えなさい。
- ②「慰霊のリレー」で使用される、たすきはどこで作られているか答えなさい。
- ③豊浦町と長万部町静狩間はなぜ航海で進むのか地図帳を開いて考えてみよう。